

2010年1月12日

各位

オリックス自動車株式会社

オリックスカーシェアリング、大阪・神戸で初の大規模展開 ～第1弾として、1月15日より各駅周辺に41拠点、51台を新設～

オリックス自動車株式会社（本社：東京都港区、社長：三谷 英司）が展開するカーシェアリング事業では、2010年1月15日より、大阪府でのサービスを拡大し、兵庫県にも初進出します。これにより、関西エリアで既に展開中の京都府を含め、全国1都2府5県どのエリアにおいてもICカード1枚でご利用いただけます(*1)。

このたび新設するカーシェアリング拠点（カーシェアリング車両の設置されている駐車場。以下、カーステーション）は、大阪市内中心部の主要駅、乗換駅周辺、さらに大阪市外（高槻市、茨木市、東大阪市）および兵庫県（神戸市、尼崎市）にも新設します。

大阪市内中心部では、新大阪・梅田・淀屋橋・本町・心斎橋をはじめとした御堂筋線や、谷町線および京阪本線沿線の駅周辺に、市外では、JR高槻駅、JR茨木駅、阪急茨木市駅、近鉄布施駅に36ステーション46台を設置します。兵庫県下ではJR尼崎駅、阪神本線尼崎駅、JR三ノ宮駅、阪急三宮駅周辺に5ステーション5台を設置します。これにより、大阪・兵庫エリアは43ステーション54台となります。

オリックスのカーシェアリングは、パソコンや携帯電話またはフリーダイヤルから簡単に予約ができ、24時間、365日いつでもご利用いただけます。ご利用時はカーステーションでICカードをクルマにかざしてドアロックを開錠します。また、最短30分、15分単位で、必要なときに必要な分だけクルマを使う仕組みのため、所有する際にかかる車両代や駐車場代、保険料、税金、車検などの維持費が不要となり、大幅なコスト削減に繋がります(*2)。

カーシェアリングが普及することで、自動車の無駄な利用が減り、省エネやCO₂排出量の削減、渋滞の緩和などにつながることから、環境効果も注目されています(*3)。

オリックス自動車では、今後もカーシェアリングの持つ利便性・経済性に加え、「安全性(*4)」を重視しながらネットワークの充実を図ることで、お客さまのニーズにお応えするとともに、環境負荷低減に積極的に取り組んでまいります。

以上

*1～4については別紙へ記載のとおり

【本件に関するお問い合わせ先】
オリックス自動車株式会社 社長室 矢崎・滝川
：03-6436-6030

<ご参考>

新設ステーション

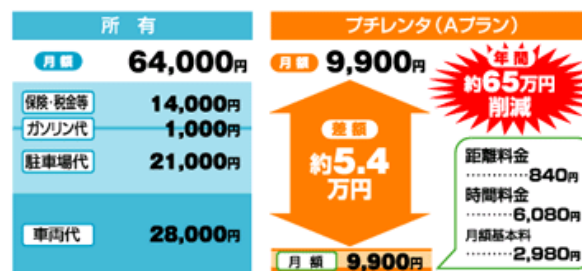
沿線名	駅名	新設 拠点数	新設 台数	沿線名	駅名	新設 拠点数	新設 台数
北大阪急行	千里中央	2	4	長堀鶴見 緑地線	西大橋	1	1
御堂筋線	江坂	2	2	中央線	阿波座	1	1
	新大阪	4	6	京阪本線	北浜	1	1
	梅田	1	1		天満橋	1	1
	淀屋橋	1	1	JR 線	高槻	2	3
	本町	2	3		茨木	1	1
	心斎橋	2	3		福島	1	1
			尼崎		1	1	
四つ橋線	西梅田	2	4		三ノ宮	1	1
	肥後橋	1	1	阪急 宝塚線	豊中	1	1
	四つ橋	2	4		池田	1	1
堺筋線	堺筋本町	1	1	阪急 京都線	茨木市	1	1
	長堀橋	1	1	阪急 神戸線	三宮	2	2
谷町線	南森町	1	1	阪神	尼崎	1	1
	天神橋六丁目	1	1	近鉄	布施	2	2
	谷町四丁目	1	1				
	谷町六丁目	1	1				

補足説明(*1~4)

(*1) オリックス自動車の展開するカーシェアリングの全国拠点数は、東京・神奈川・千葉・埼玉・愛知・三重・大阪・京都・兵庫の1都2府5県となります。

(*2) 週に1度、1回2時間程度しか自動車を使用しない場合であれば、自動車を所有した場合と比べて年間約60万円を節約することができます。

* 車両代、駐車場代、ガソリン代、保険料などは、カーシェアリングで使用している車両を所有した場合の一例です。



(*3) 直近の事例としては、2008年11月から2009年2月まで京都府と共同で、京都府庁においてカーシェアリング導入実験を実施し、その際、参加者全体でカーシェアリング入会前と比較し自動車での走行距離が約27%削減されるなどの結果が出ています。また、オリックス自動車のカーシェアリング事業は、車両から排出されるCO₂全てを相殺する自己事業活動型のカーボン・オフセットを導入しています。

(*4) オリックス自動車のカーシェアリング車載機は、各自動車メーカーにご協力いただき、車両状態を遠隔管理しています。

【カーシェアリングの利用手順】



携帯・パソコン・電話で利用可能なステーション・車種を選び、予約する。



会員専用の IC カードを持って予約したステーションへ。



カードリーダーにカードをかざし、個人認証をし、予約の確認。予約の認証が完了すると、クルマのハザードが点滅し、利用可能な車両をお知らせ。もう一度 IC カードをかざすとドアロックが開錠。



車内に取り付けてあるグローブボックスから運転キーを【貸出】位置に回し、抜き取る。



エンジンをかけ出発。



帰着したら、エンジンを切って、運転キーを出発の時を同様、グローブボックスの【返却】の位置に戻す。



その後、液晶モニターで利用料金と走行距離が確認できる。



出発と同様に、IC カードをクルマにかざしてドアをロック。これで返却作業完了。